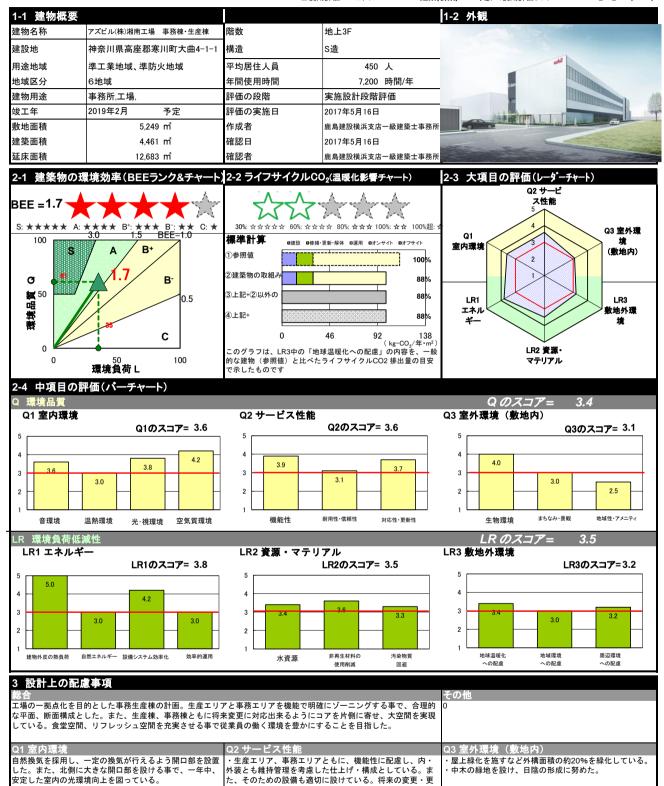
【**↑ SBEE** - 建築(新築) ▮評価結果

CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

中木の緑地を設け、日陰の形成に努めた。

生しないよう努めた。

建物内および外構の照明計画にあたり、敷地外へ光害が発



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

安定した室内の光環境向上を図っている。

する事で熱負荷低減を図った。

・大きな開口部を北側にしぼり、かつ、複層ガラスを利用

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

新にも対応できる平面・断面構成としている。

・壁塗装について、有害物質を含まない材料を利用。 ・躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。

・節水型大便器、自動FVを用いている。

主要構造躯体に電炉鋼を用いている。

■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される